

あるいて たのしむ こおりやま



KORIYAMA VISION BOOK

こおりやま公民協奏エリアプラットフォーム

こおりやまビジョンブック



第一版

あるいは たのしむ こおりやま

このビジョンブックは、

わたしたちの暮らすこおりやまの「まち」を

もっと「身近な日常」に感じられるよう

暮らす人と行政とが手を取り合って

新たな取り組みが活発に生まれる「まち」の方向性をまとめたものです。

車で通り過ぎるだけのまちから

公園や広場、空き家を活用した

「あるいはたのしむこおりやま」を目指し

こおりやまの日常をアップデートしていく

そんな目標を掲げ、動きはじめたまちの姿を紹介していきます。

さんぽの目的地を「まちなか」に

まちにわくわくと居心地の良さを生み出す

ウォーカブルという考え方。

みんなの好奇心や、やってみたいを持ち寄って

まちなかをもっと柔軟に活用できたら

毎日がもっとたのしくなるはず。

まちなかを「さんぽ」するように楽しめて

居心地の良さに引き寄せられて

歩いて向かいたくなる「公園」のような場所が

まちなかに生まれる仕組みを考えていきます。



国土交通省では、2020年度から広場等の整備や修復・利活用、滞在環境の向上に資する取組として「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを推進する事業を創設し、ウォーカブルなまちづくりを共に推進する「ウォーカブル推進都市」を募集しています。郡山市も2019年に賛同しており、官民連携による持続的なまちづくりの実現を目指しています。

もくじ

このビジョンブックについて	02
エリアの全体像	06
郡山市の歴史	08
エリアの将来イメージ	12
わくわくをつくる仕組み	14
わくわくをつくる仲間／ロードマップ	15
エリプラ会議・ワークショップ	16
各エリア紹介／大町	18
各エリア紹介／中町	20
各エリア紹介／本町	22
各エリア紹介／清水台	24
郡山駅西口エリアに関するアンケート	26
各エリア＆エリプラ活動記録	32

のぞいてみよう！



エリアの全体像

大切にしたいこと

奥州街道沿線に残る歴史や文化を受け継ぎ
未来へつなげる

対象エリア

あるいはたのしむエリアとして
4つのエリアを含む郡山駅西口エリアに注目

大町

郡山駅に隣接し、駅前アーケード商店街、大町商店街とともに中心市街地の商店街として大型店舗の進出などで活性しているエリア。

中町

フロンティア通りと一体的に都市景観の向上を目指しており植栽などを配し歩行者の方々が安らげる場所として整備を進めているエリア。

本町

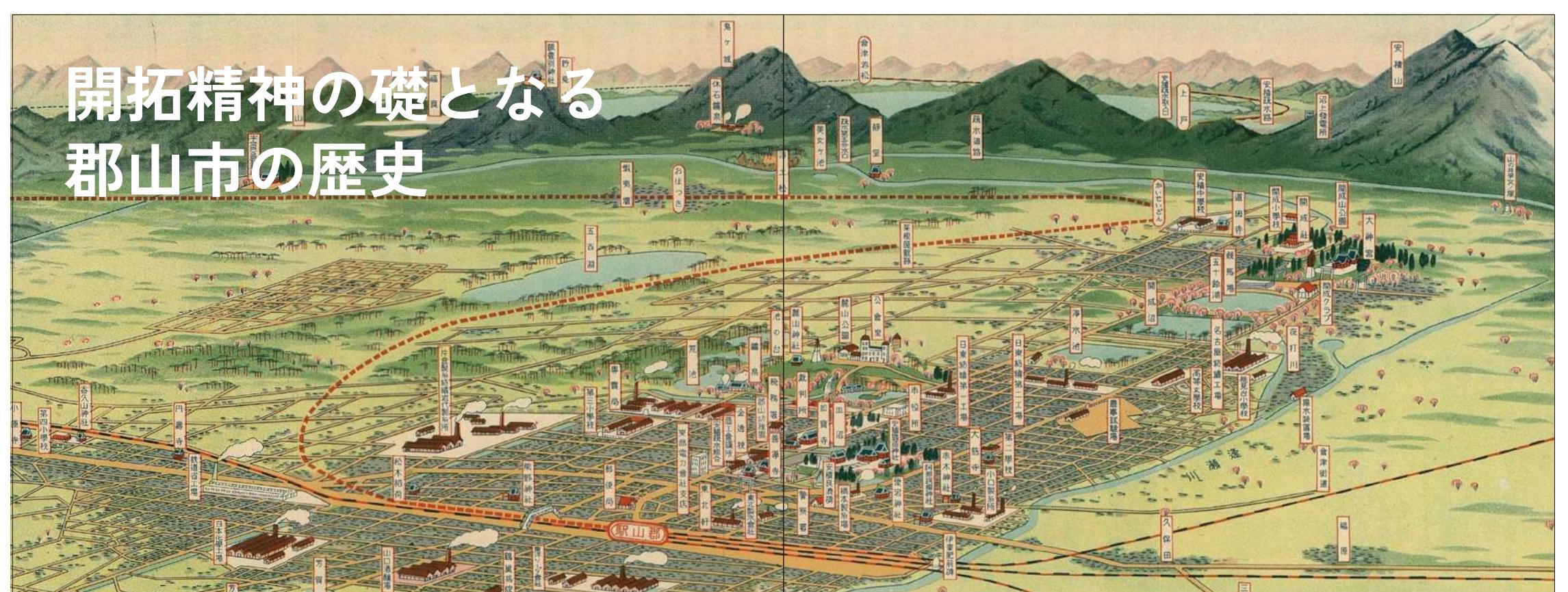
旧奥州街道を軸に暮らしと商いが交差する郡山の下町。住宅と個人商店がひしめくゅったりとした時間が流れるエリア。

清水台

奈良～平安時代に郡衙(役所)として機能した清水台遺跡を保有し、喫茶店や傘屋などの老舗店とカフェやセレクトショップといった新しい店舗が並ぶ新旧文化の交わるエリア。



開拓精神の礎となる 郡山市の歴史



宿場町として
栄えた郡山

慶長期(1596～1615)の末年に郡山宿が成立。町割りが実施され、郡山村は上町と下町の行政区に区分されました。また、宿の役人として名主・本陣・問屋等も置かれ、この時期に安積郡内の奥州道中に笛川・日出山・小原田・郡山・福原・日和田・高倉の七宿が成立しました。当初の宿は、中町から大町にかけて広がっていましたが、天和年間(1681～1684)に行われた町割りにより本町から大町の北側へ拡大、文政7年(1824)に村から町へ昇格したことにより、翌年には本町の南側が更に拡大しました。



左／一蘭斎国絵
「孝子彌五郎伝 郡山駅」
(安斎家所蔵)



右／返舎一九撰・歌川美磨画
『諸国道中金の草鞋 五』より
「笛川宿」(安斎家所蔵)

引用：郡山宿解説パンフレット 過客帳わう宿場町郡山宿／(発行)郡山市文化スポーツ部文化振興課、テキスト引用：文化振興課web、画像出展：デジタルアーカイブ

日本三大
疏水の一つ
「安積疏水」

安積疏水は、水利が悪く不毛の大地だった郡山の安積原野に猪苗代湖からの水を引いた大事業。3年の年月を費やし、延べ85万人の労働力を注ぎ込み、明治15年8月、幹線水路の延長52キロメートル、分水路78キロメートル、トンネル37か所、受益面積が約3千ヘクタールという安積疏水が完成しました。この安積疏水は、疏水百選にも選出されています。



安積疏水開削当時の十六橋水門

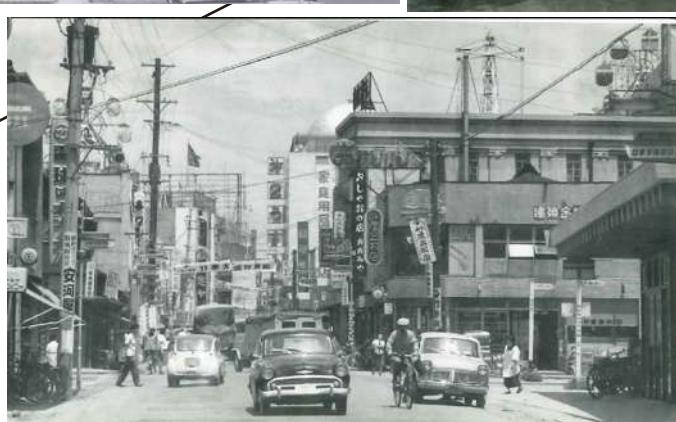
まちの原動力
開拓者精神！

写真で振り返る

昭和～平成 の駅前西口エリア



1965



1997

OOMACHI

こどもから
お年寄りまで
健康で安全に
楽しめるまちに！



わくわくをつくる仕組み



わくわくをつくる仲間

郡山駅西口エリアを中心に民間事業者や地域の商工団体を中心に、まちの課題などを協議し、公民連携でエリア価値向上に向けて取り組む団体として「こおりやま公民協奏エリアプラットフォーム」が立ち上りました。

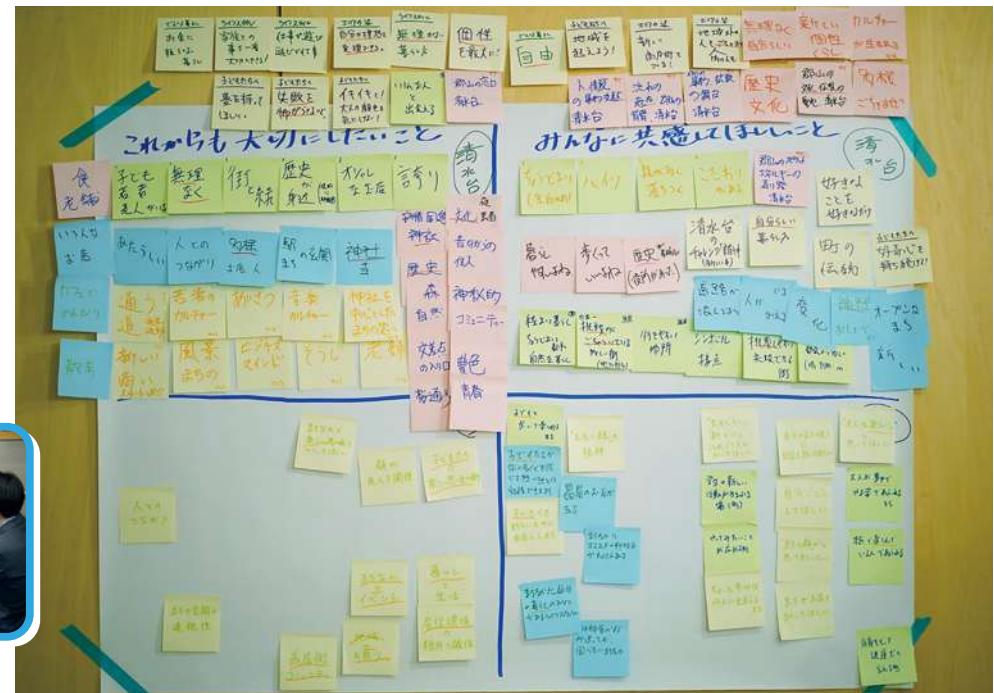


ロードマップ



エリプラ会議・ワークショップ

まちがどんな風に変われば「あるいて・たのしむ」ことができるでしょうか。エリプラメンバーで、それぞれのアイディアを出し合い、方向性を絞ることで将来のまちの姿を具体化する一歩を見出しました。



【キーワード】

賑わいを作り出すとは、
お金が儲かる賑わいなのか
人が集まる賑わいなのか？

ごみが落ちていないまちに

仕事も家庭もバランスよく
両立できるまちが理想

サードプレイス的な
場所を目指している

クリスマスマーケットを行いたい

こどもたちに
楽しい思い出を
つくってもらいたい

恋人と腕を組んで歩ける
大人なまちを目指したい

空き家の活用として内装など
最近はしっかり作る店が増えた

おしゃれで健康的

大町1丁目2丁目はもともとつながっていた場所。
新しくつながりが生まれ始めるまちだと感じる

いろいろな人と出会えるまち

余白のあるちょうどよいまち

若者のカルチャーを育てたい

にぎわいもいいけど
ゆるい静けさも大切

月極駐車場が多いため、日中はスカスカ。
この状況を利用し、本町にてマルシェの拡大を行いたい

各エリア活動紹介

大町

暮らしとエンタメの起点 ~歩いてつながる大町のイ・ロ・ハ~

郡山市大町は、異なる表情を持つ3つのエリアが大きな道路で区切られながらも、それぞれの雰囲気を歩いて感じ取ることができるまちです。かつての会津街道や三春馬車鉄道といった歴史的な要素を起点とし、ここでは暮らす人と訪れる人、過去と未来が自然に交差し、新たなつながりが生まれます。私たちは、大町を「歩くたびに新しい発見があり、心豊かなつながりを楽しめる町」として発展させていきます。一步一歩の移動が、暮らしの充実やエンターテイメントの楽しみへとつながる、そんなまちを目指します。



駅前の隣が大町。

美術館通りを境に、北側南側に分かれている。
通りを越えると大町って違う感じがする。

大町・本町が核になり
2点を繋ぎ合わせる中間地点が
駅前になる。まちづくりの核になれると思います。

コンパクトシティという考え方を
郡山にどう落とし込むのか、
そのヒントを我々の活動から
受け止めてもらえるのではと思う。

中町と本町、大町1丁目と
大町2丁目、それぞれとても大事なところにあるので
駅前通りを中心に、品のある大人のまちになればいい。

郡山の好きなところは商店街が
まだ残っているところ。昔からの
人たちのまち独自の文化がある。

大町は夜8時に高齢のご夫婦がお
散歩できるくらいのまちにしない
と。若い人がいるのは元気でいいけ
れど下町商店街はお年寄りと孫た
ちが楽しめる場所にしてほしい。

こどもの頃の郡山は、みんなが興
味を持つ場所がいっぱい。畠屋さ
ん、桶屋さん、模型店、電気部品屋
・刺激的なものがあった。



公益財団法人 星総合病院 理事長
星 北斗 さん



大町ベース 公益財団法人 星総合病院が運営する地域多世代交流の拠点として様々な利用ができる施設。

こどもの頃、大町は暮らしの場であり、遊び場で
あり、ご近所の大人たちの温かな思いやりに
包まれたまちでした。今もなお、自分にとって
大町は、大切な居場所であり、誇りを持って関わ
り続けたいまちです。

こどもたちが楽しい思い出をつくれ
る、活気あふれるまちを目指して。そ
の実現のために、私たちにできること
を考え、行動し、形にしていくまちであ
りたい。



大町の「再発見」「再確認」「再発信」を重ねなが
ら、自ら動き、まちを元気にする。周囲を巻き込
み、楽しみながら、未来へとつながるまちづくりに
取り組んでいくべきだと思います。

宮川包装資材株式会社
宮川 雄次 さん



おおまち笑・Show・商
郡山市大町商店街振興組合が運営する大町
の活性化が目的のイベント。

各エリア活動紹介

中町

老若男女が集う、心躍る「ショッピング」と「情報発信」の中心地、中町

中町エリアには、百貨店やおしゃれな洋服や雑貨のセレクトショップ、美味しいドーナツやパン屋さん、居心地の良いカフェなど、多彩なお店が集まっています。ここは、ただ歩くだけでもワクワクするような都会的な雰囲気を楽しめる「ショッピングエリア」です。昼間は買い物やカフェでのんびり過ごし、夜は老舗の焼き鳥屋さんや地元の新鮮な食材を使った居酒屋さん、若者が集まるライブハウスなどで賑わっています。中町エリアは、昼と夜それぞれに違った楽しみ方ができ、老若男女が集まる場所として活気に満ちています。

また、中町エリアは、最新のトレンドや地域の魅力を伝える「情報発信拠点」としての役割も担っています。百貨店や商店街では様々なイベントを開催しており、訪れるたびに新たな発見があります。たとえば、7月から12月にかけて毎月開催している「あぐり市」では、郡山産の旬の野菜を紹介し、採れたての美味しい野菜を販売することで、郡山の農業を知ってもらうきっかけを提供しています。

心躍る買い物体験と、訪れるたびに新たな発見がある場所。それが私たちの目指す中町エリアです。



和光地所 株式会社
根本 浩典さん

会社、買い物も中町なので本当に生活の一部という感覚。常にここにいる感じ。

県内唯一のうすいデパートさんを存続させるために商店街としても盛り上げていきたい。

昔は中町全体がにぎわっていた。人が多く、肩がぶつかるぐらいの人混みだった。

商店街とうすいさんと連携して1日中誰でも楽しめるイベントを企画したい。

中町はテンションが上がる場所。散歩じゃなくて「お出かけする」場所だった。

小学校まではしょっちゅううすいに行っていた。中町は家族の思い出の場所。

焼栗屋さんやたこ焼き屋さんがうすい前に屋台で出ていて、それを家族で買って帰るのが楽しみだった。

商店街全部を使ってクリスマスマーケットをやりたい。

家族と一緒に楽しめる、恋人と腕を組んで歩けるお洒落して出かけられる場所にしたい。

株式会社 うすい百貨店
薄井 仁郎さん



うすい前広場・Discover Trailerなどを活用

学生や一般の方の「自分のやりたいこと」を実現する場としてうすい前広場を解放するとともに、(株)おおほり建設さんにもご協力いただいています。



あぐり市

NPO法人郡山農学校が毎年定期的に開催している農産物の直売所。農家さんとお客様のふれあいも楽しめます。

各エリア活動紹介

本町

下町の余白を楽しもう。 かかわりしろのある町、本町

本町は旧奥州街道を軸に暮らしと商いが交差する郡山の下町です。かつての賑わいは衰退とともに薄れつつありますが、その一方で、そこには新たな暮らしや商いの可能性ともいえる「余白」が広がっています。この余白は、住民や訪れる人が発見し、人とのかかわりによって日々の暮らしを楽しむ場へと形を変えていきます。本町特有の静かでゆったりとした時間の流れ、そこに生まれる「かかわりしろ」が、新たなコミュニティや文化の再生を支えます。何気ない散策の中で、小さな路地や小店とのふれあいが、人と人をつなぐきっかけを生み出し、いつも新しい魅力が発見できる「歩く」ことが楽しいまちを目指しています。



株式会社 コノマチ不動産
佐藤 弘樹さん

不動産業のキャリアスタートの地(笑)
本町とまちのアツギは私の
心の拠り所です!

本町は下町の良き趣きを生かしつつ、
商いをする人・住む人・来る人が
自然と交流できるまち。

散歩がてら気軽に本町に来て、歩いて
面白さを発見してください!

只今改裝中のコミュニティースペース
「nokado本町」で定期的に催し物を開催し
それをきっかけとして皆さんと一緒に
まちづくりを考えていきたいです。

「○○のアツギ」というフォーマットで、
ものや思いが引き継がれ、地域資源が
循環いく、イベントや事業を
やっていきたいです。

本町には昔お店だった
建物が多くあるので
それらを有効活用して
いきたいと考えています。

本町はたくさんの思い出と、
家族や先祖、地域の方々との
ストーリーがある
場所です。

伏見屋ガラス店
三保谷 泰輔さん



まちのアツギ定例MTG

毎週木曜夜、地域のこと、イベントの企画、私たちに出来ること、まちの未来などを話し合っています。



nokado本町オープンデー/Clean up & Onigiri Club

本町エリアを歩いて、ゴミを拾いながらまちをリサーチ。終了後おにぎりを食べながら感想や妄想を共有しています。

各エリア活動紹介

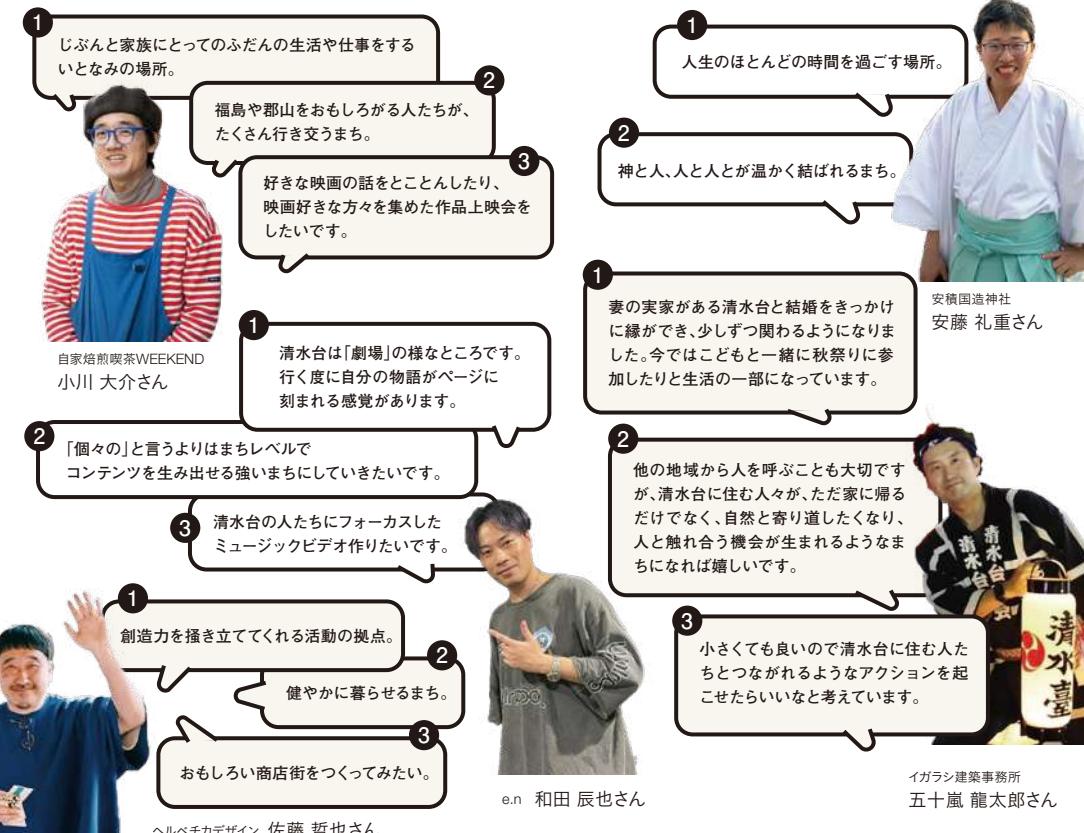
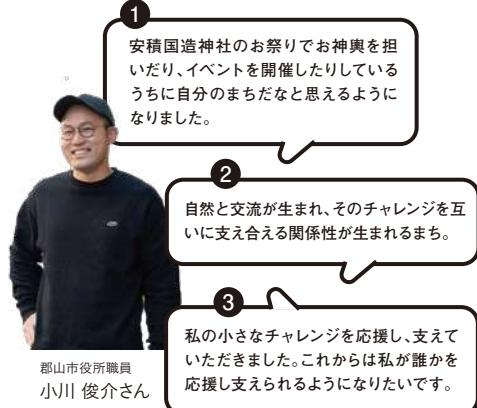
清水台

ひとりひとりのわくわくから はじまるまち「清水台」

清水台は、自由な発想や自分らしい挑戦が循環し、流れるように広がっていく地域です。このまちは、ひとりひとりが自分のやりたいことを見つけ、無理なく実現できる環境が整っています。清水台では、さまざまなアイデアが染み出し、みんなの情熱が集まってスタートアップが次々と生まれています。人々のわくわくが湧き出て、そこから連鎖的に新しいプロジェクトやコミュニティが形成され、地域全体が活気づいていくのです。このように、清水台は各自の挑戦が交差し、共に成長していくことで、さらなる未来へと広がっていく、魅力ある場所となっています。

清水台で活躍する方々に質問 /

①あなたにとっての清水台とは? ②どんなまちにしていきたいですか? ③これからやってみたいことは?



ブックナイトマーケット

神社や公園などの公共空間を活用して行われるブックナイトマーケット。本と本を交換する対話が生まれるイベント。

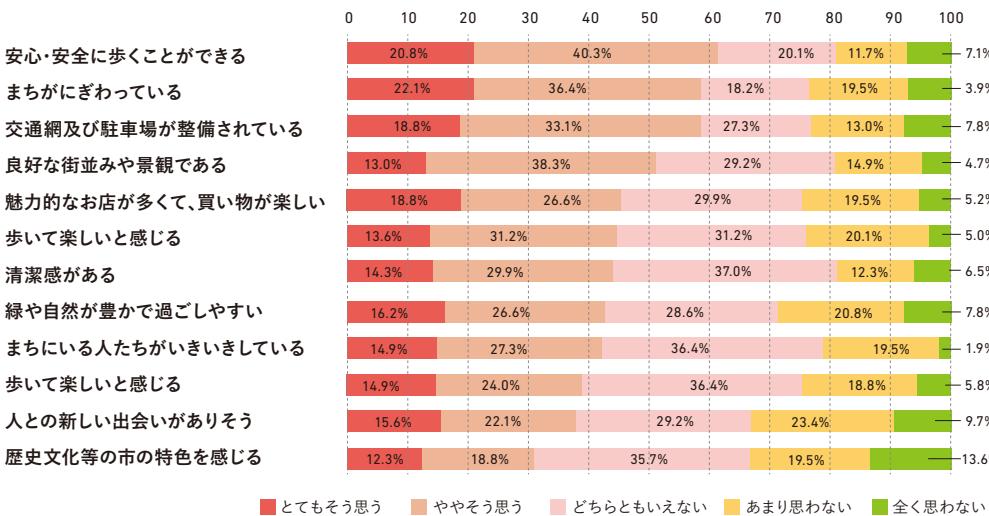
郡山駅前エリアに関するアンケート

■来街者アンケート

※郡山駅西口周辺滞在者・通行人を対象に、令和5年7月に実施。(回答者数:301人)
※グラフは「郡山市在住」と回答した「154人」のデータを基に作成。

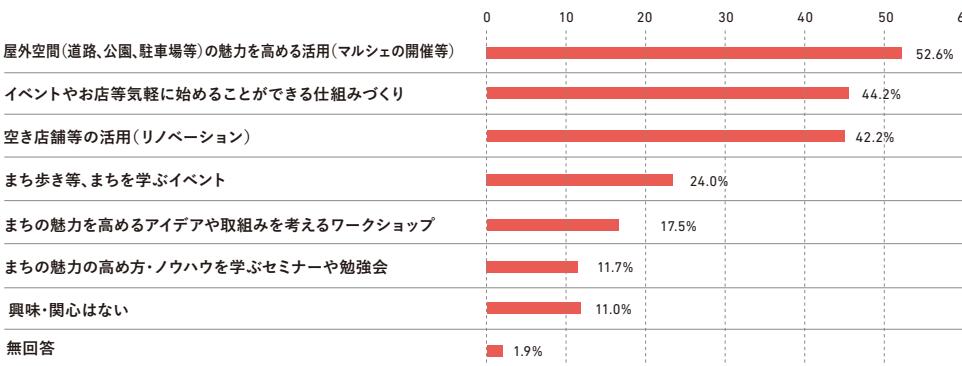
Q 対象エリアへのイメージを教えてください

- 対象エリアのイメージ(「とてもそう思う」と「ややそう思う」の合計)は「安心・安全に歩くことが出来る」で61%、次いで「まちがにぎわっている」が59%と高かった。
- 一方でイメージから遠かったのは「歩いて楽しいと感じる」「人との新しい出会いがありそう」「歴史文化等の市の特色を感じる」の3項目で「とてもそう思う」と「ややそう思う」の合計が40%を下回った。



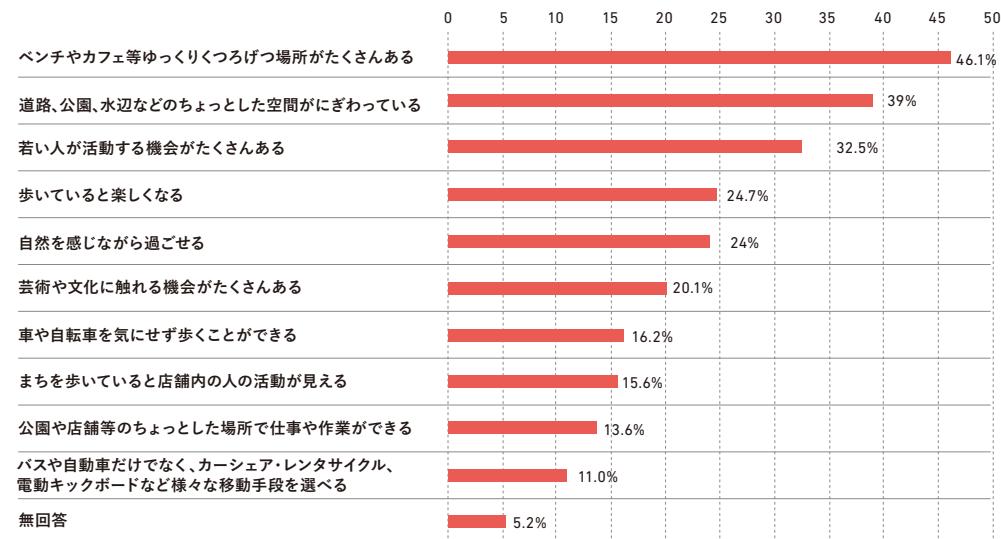
Q 興味・関心のあるまちづくりに関する活動は何ですか(3つまで選択)

- 最も高かったのが「屋外空間の魅力を高める活用」で52.6%となった。
- 「興味・関心はない」が11%であり、残りの9割の方はまちづくり活動に興味があるといえる。



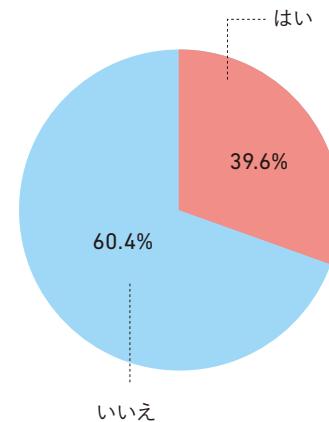
Q 今後エリアに必要だと思う魅力をお答えください(3つまで選択)

- 最も高かったのが「ベンチやカフェ等ゆっくりくつろげる場所がたくさんある」で46.1%となった。
- 一方で交通手段に関して「車や自動車を気にせずに歩くことが出来る」「バスや自動車だけでなく、カーシェア・レンタサイクル・電動キックボードなど様々な移動手段を選べる」が20%を下回った。



Q まちづくり活動に実際に参画したいと思いますか

「はい」は約40%となり、興味関心はあっても参画のハードルはまだ高いといえる。



郡山駅前エリアに関するアンケート

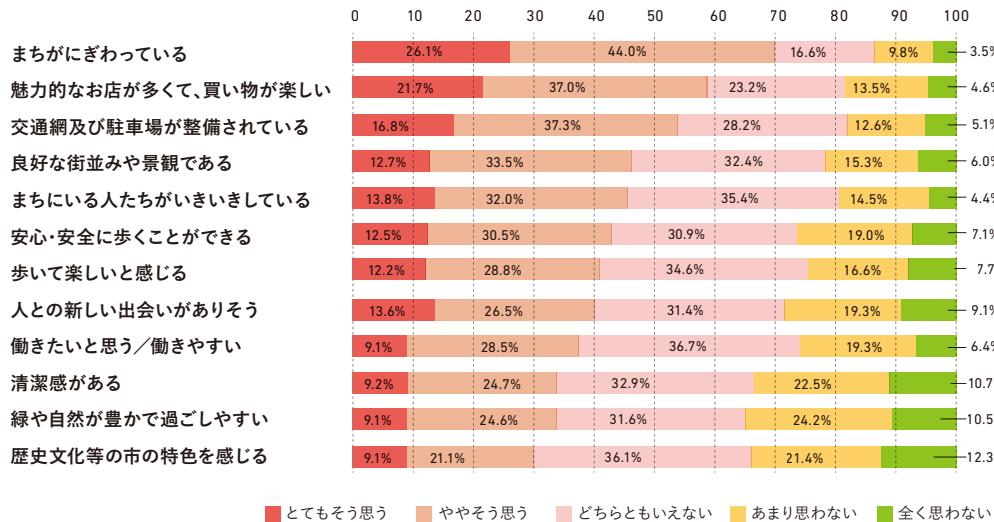
■学生アンケート

※市内高等学校専門学校に通う学生を対象に、令和6年1月～3月にかけて実施。(回答者数:1,323人)

Q 対象エリアへのイメージについてお伺いします。

次の各項目について、当てはまる項目をお答えください

「まちがにぎわっている」と感じている学生が70%と最も多かった。

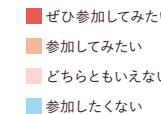


Q まちづくり活動に実際に参画したいと思いますか

「どちらともいえない」が半数を超える最も高い回答割合となった。

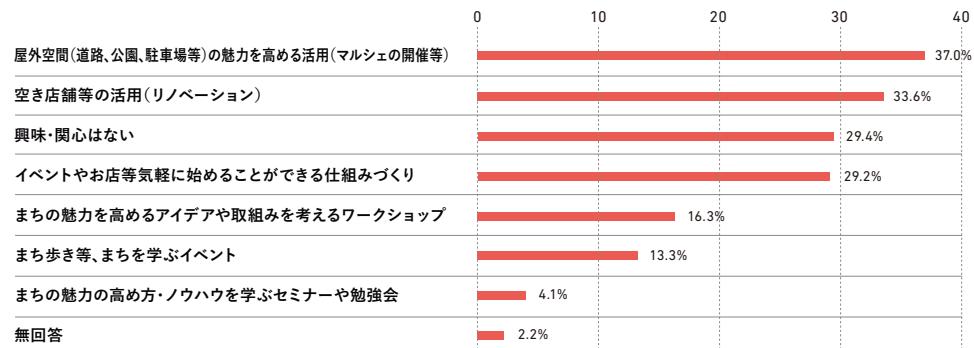
「ぜひ参加してみたい」「参加してみたい」の合計は25.9%と、

「参加したくない」の19.2%を上回った。



Q 興味・関心のあるまちづくりに関する活動があればお答えください[3つまで選択]

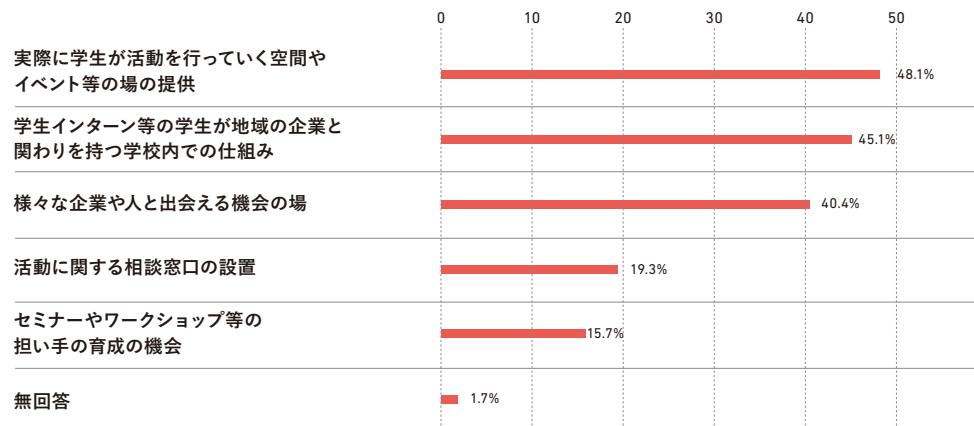
「屋外空間の魅力を高める活用」が約4割と最も高かった。一方で「興味・関心はない」が約3割となった。



Q 今後対象エリア内での学生と地域が連携したまちづくり活動の実現に向けてどのような取り組みが必要だと思いますか [3つまで選択]

■ 「実際に学生が活動を行っていく空間や場の提供」が約5割と最も高い割合を占めた。

■ 「学生インターン等の学生が地域の企業とかかわりを持つ学内での仕組み」や「様々な企業や人と出会える機会の場」といった項目も回答率が4割を超えており、上位3項目に回答が集中した。



郡山駅前エリアに関するアンケート

■企業アンケート

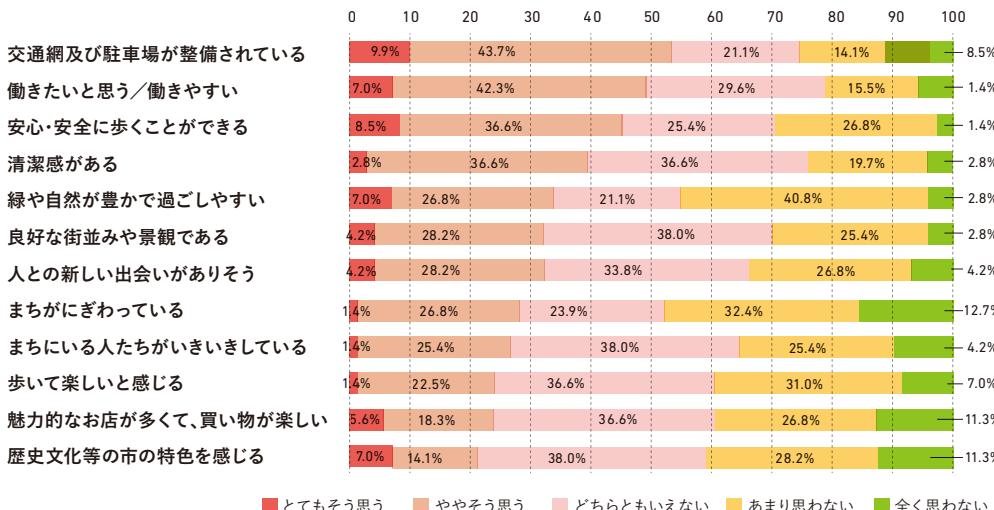
※郡山駅西口エリアに事務所がある企業等を対象に令和5年11月に実施(回答数:71件)

Q 対象エリアへのイメージについてお伺いします。

次の各項目について、当てはまる項目をお答えください

■「とても思う」「やや思う」の回答割合が高かったのが「交通網が整備されている」「働きたいと思う/働きやすい」で約半数となった。

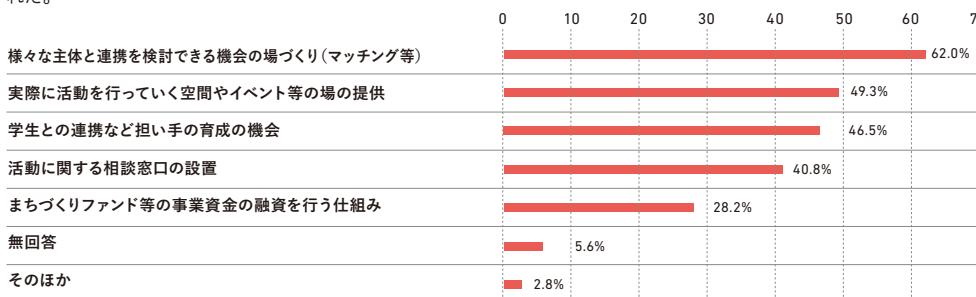
■一方で「緑や自然が豊かで過ごしやすい」「まちがにぎわっている」では「あまり思わない」「全く思わない」の回答割合が高くなかった。



Q 今後の対象エリアで様々な主体が連携して活動するために、

どのような取組みが必要だと思いますか。(当てはまるものすべてを選択)

最も多かったのが「様々な主体と連携を検討できる機会の場づくり(マッチング等)」となり、次いで「実際に活動を行っていく空間やイベント等の場の提供」の回答割合が高かったことから、活動を行う上での拠点となる仕組みを求める傾向がみられた。

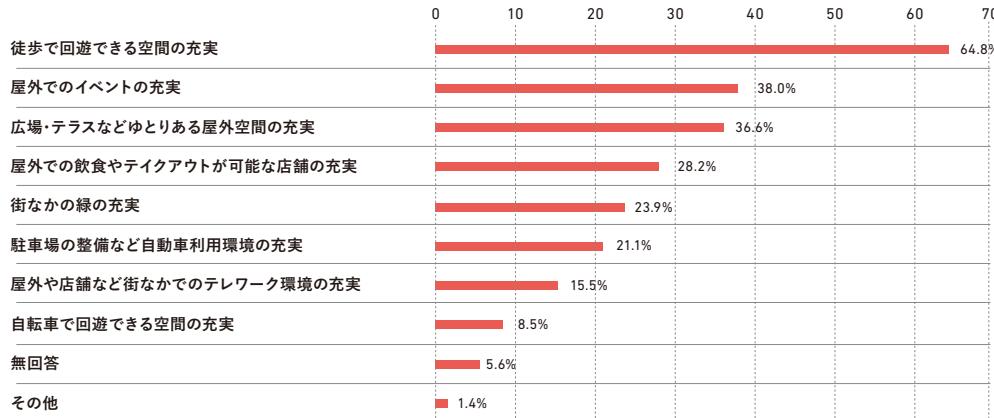


Q 今後事業者として対象エリアに必要だと思う機能をお答えください。

[3つまで選択]

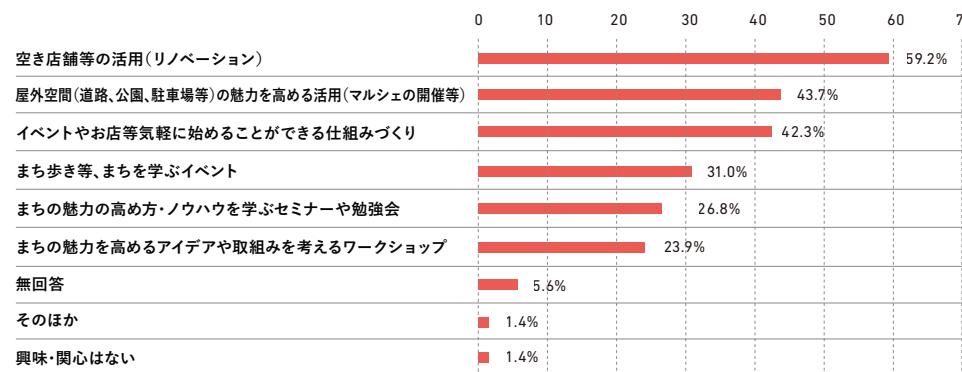
■最も回答が多かったのは「徒歩で回遊できる空間の充実」が64.8%であった一方で「自転車で回遊できる空間の充実」は8.5%と全項目の中で最も低かった。

■また、「屋外でのイベントの充実」「広場・テラスなどゆとりある屋外空間の充実」といった屋外空間の賑わいを創出するような機能への回答が多くみられた。



Q 興味・関心のあるまちづくりに関する活動があればお答えください[3つまで選択]

最も多かったのが「空き店舗等の活用(リノベーション等)」で59.2%となっており、シャッター街などへの対策への意欲が読み取れた。



各エリア&エリプラ活動記録



【構成団体】

一般社団法人 ブルーバード
一般社団法人 PEP MOTOMACHI
特定非営利活動法人 まざっせ KORIYAMA
商店街きらめき 21 研究会
まちのアツギ
公益財団法人 星総合病院
株式会社 うすい百貨店
ト拉斯ホーム株式会社
郡山市都市政策課

【発行】

こおりやま公民協奏エリアプラットフォーム

○こおりやまビジョンブックは国土交通省の官民連携まちなか再生推進事業を活用し策定しました。